



ドイツの木質バイオマス熱電供給施設

**三洋貿易株式会社**  
(証券コード：3176)  
**2020年9月期**  
**決算説明資料**

2020年11月26日

**2020年9月期実績**

**2021年9月期見通し**

**長期計画VISION2023進捗**

2012年上場以来初の減益

コロナ不況で下期以降の収益環境悪化

企業体質と収益基盤の強化への継続的な取り組み

# 連結実績表

## 2020年9月期実績

単位：百万円

	2019年9月期	2020年9月期			2020年9月期	
	金額	実績(A)	前期比	構成比	修正計画 (2020/5/12公表)	計画比
売上高	83,230	76,087	▲8.6%	100.0%	75,500	+0.8%
売上総利益	14,883	14,206	▲4.6%	18.7%		
<売上総利益率>	17.9%	18.7%	-	-		
販売費及び 一般管理費	9,011	9,414	+4.5%	12.4%		
営業利益	5,871	4,791	▲18.4%	6.3%	4,700	+1.9%
経常利益	6,075	5,271	▲13.2%	6.9%	4,800	+9.8%
<経常利益率>	7.3%	6.9%	-	-	6.4%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,018	3,013	▲25.0%	4.0%	3,300	▲8.7%
EPS (円)	140.36	105.22	-	-	115.24	-
配当 (円)	37.0	-	-	-	37.5	-

※19.9期EPS、配当は権利落修正考慮済

# 減益の要因

2020年9月期実績

コロナ感染症拡大による影響とそれ以外の要因に分けて、セグメント別にご説明します。

セグメント		事業部	コロナの影響	コロナを除く要因
化成品	ゴム		<ul style="list-style-type: none"><li>自動車/建機向け需要減</li><li>新規拡売の停滞</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>OA・家電・電線向け需要減</li></ul>
	化学品		<ul style="list-style-type: none"><li>塗料/インキ関連の需要減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ワイパーテック買収費用の一括計上</li></ul>
機械資材	産業資材		<ul style="list-style-type: none"><li>自動車生産台数大幅減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>国内・海外競合先との競争激化</li><li>原価低減圧力</li></ul>
	機械・環境		<ul style="list-style-type: none"><li>地方自治体との面談機会減</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>木質バイオマス機器販売の端境期</li></ul>
	科学機器		<ul style="list-style-type: none"><li>デモ/展示会の中止(機会喪失)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>輸入製品の価格上昇</li></ul>
海外			<ul style="list-style-type: none"><li>自動車生産台数大幅減 (中国を除く)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自動車部品の原価低減圧力</li></ul>

コロナ禍で先行きが不透明な中、新たなステージに向けた内部体制強化を徹底、全社員一丸でやるべきことを迅速に実行しました。

### 【IT化推進】

- テレワーク体制の構築 : 全社員を対象にテレワーク化、現在も運用を継続中
- ワークフロー導入 : グループウェアを活用し、業務効率化を実現
- 電子申請導入 : 社内申請手続きをペーパーレス化、業務速度向上
- 税関処理を自動化 : 関税・消費税に関する社内業務を大幅に簡素効率化
- 遠隔支援による検収 : 海外からの遠隔支援による機械機器の検収作業IT化を実現
- ウェビナー活用 : デモ・展示会の代替として実施、累計30回、2千名以上参加

### 【業務整備】

- 在庫管理の徹底 : 受発注体制を再チェック、危機時の効率的な供給体制整備
- 与信管理の徹底 : 取引先の与信状況を再確認、対応方針の統一と与信関連教育を実施
- 管理部門改善活動 : 業務効率化の案出し90件、うち60項目完了

### 【資金繰り】

- 年明けを目途とした潤沢な短期資金を確保中、不測の事態を回避

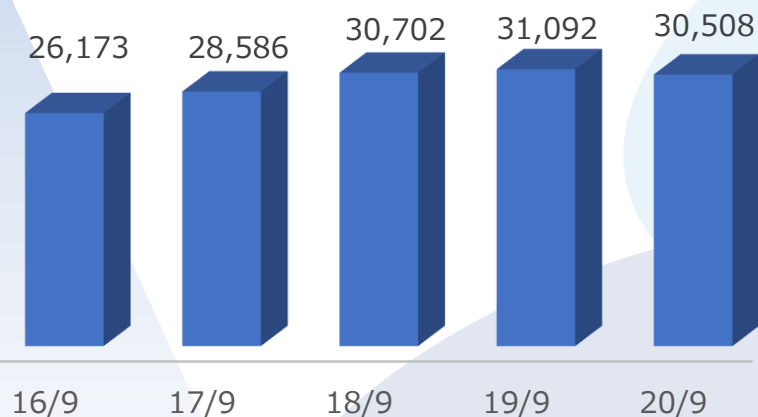
# セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期実績

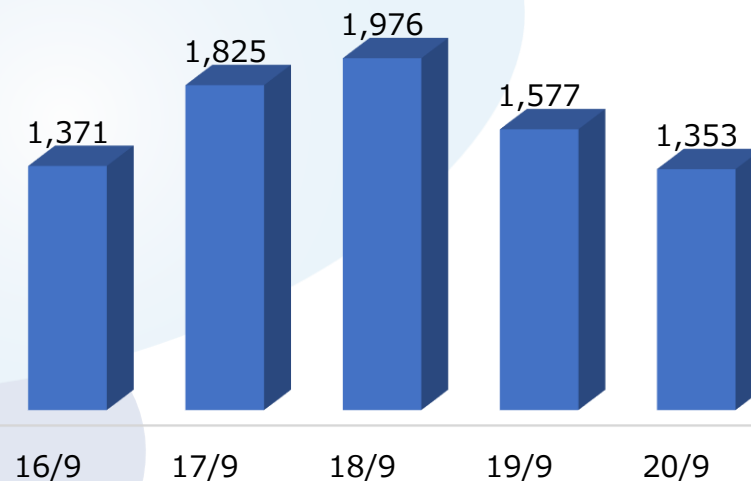
## 化粧品

単位：百万円

売上



営業利益



	金額	前期比増減率
売上高	30,508	▲1.9%
営業利益	1,353	▲14.2%

ゴム事業は自動車向けや家電・情報機器向けの合成ゴムや副資材の採算が振るわず、輸出も落ち込む

化学品事業は塗料・インキが夏場以降急激に落ち込み、ワイパーテック買収関連費用の計上も影響

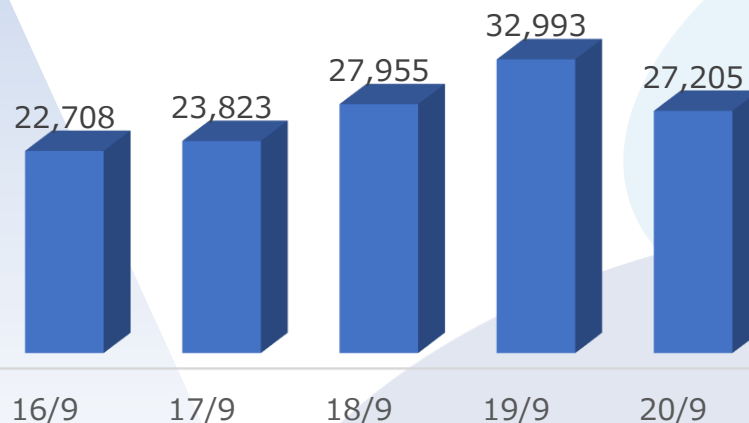
# セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期実績

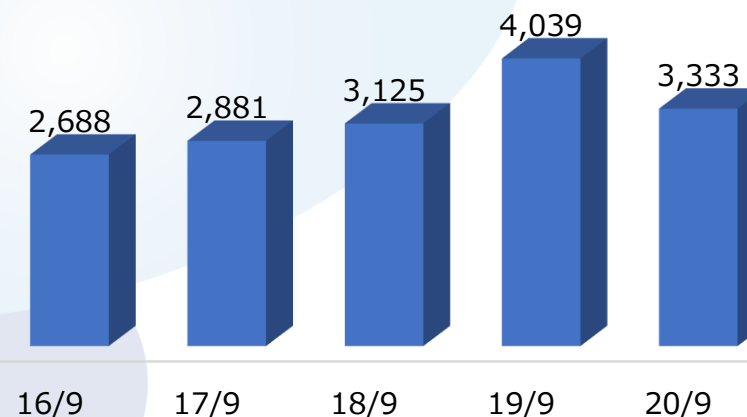
## 機械資材

単位：百万円

売上



営業利益



	金額	前期比増減率
売上高	27,205	▲17.5%
営業利益	3,333	▲17.1%

産業資材事業は国内自動車メーカーの生産活動が急激に落ち込んだ影響

機械・環境事業は飼料加工機器が好調な一方、木質バイオマス関連で新規大型案件がなかった

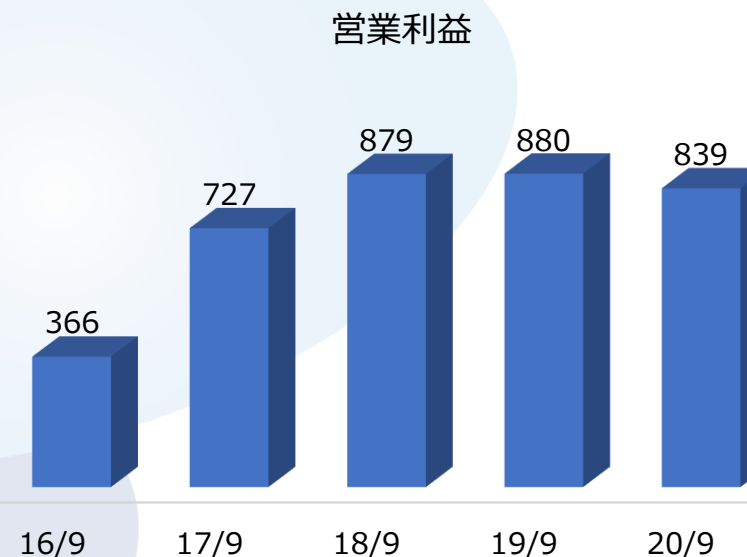


# セグメント別 売上高・営業利益

2020年9月期実績

## 海外子会社

単位：百万円



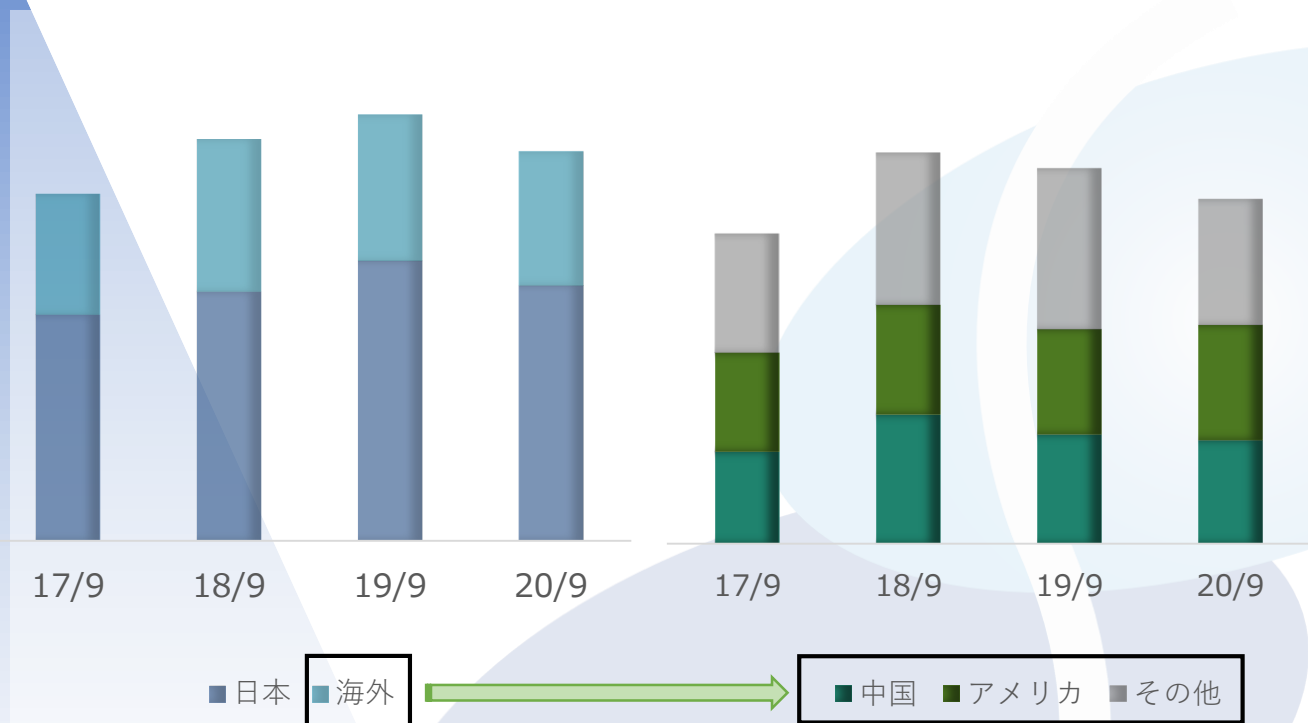
	金額	前期比増減率
売上高	18,227	▲3.8%
営業利益	839	▲4.7%

中国はコロナの影響から一転急回復  
 米国は吸水性樹脂の販売増加や販管費の減少により増益  
 タイは自動車業界の不振を受け大きく落ち込む

# 地域別売上

2020年9月期実績

単位：百万円



2020年9月期  
地域別売上高

	金額	前期比 増減率	構成比
日本	49,834	▲8.8%	65.5%
中国	7,880	▲5.4%	10.4%
アメリカ	8,781	+9.7%	11.5%
その他	9,591	▲21.9%	12.6%
合計	76,087	▲8.6%	100.0%

## 変動要因

### 日本

- 自動車関連ビジネスやバイオマス等が落ち込む
- 新規連結対象となったワイパーテックが売上寄与

### 中国

- 上期はコロナ問題の影響が発生したが、下期以降は自動車関連で持ち直しの動き

### アメリカ

- 吸水性樹脂が大きく伸び、ゴム関連やフィルム関連の不調をカバー

### その他

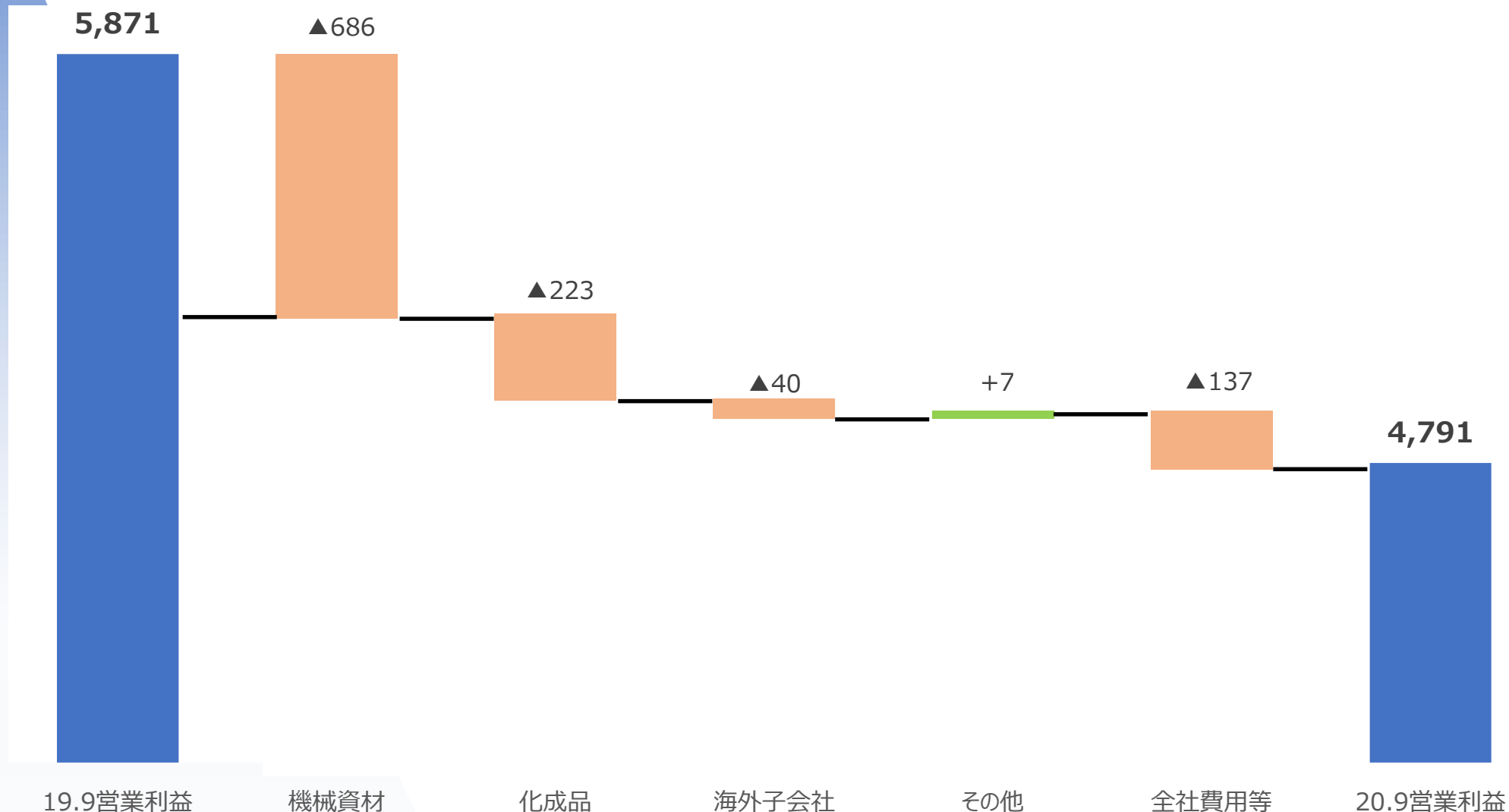
- 特にタイでの自動車関連が大きく減速

# 営業利益増減要因分析

2020年9月期実績

特に機械資材の減益が大きい

単位：百万円



# 連結貸借対照表

## 参考資料

単位：百万円

	19.9末	20.9末	増減額
現金・預金	4,548	10,418	5,870
受取手形・売掛金等	17,479	15,113	▲ 2,366
商品・製品	12,820	12,285	▲ 535
その他流動資産	1,528	1,674	146
有形固定資産	2,195	2,675	480
その他固定資産	5,159	5,063	▲ 96
資産合計	43,731	47,230	3,499
支払手形・買掛金	8,348	7,098	▲ 1,250
短期借入金	1,239	4,369	3,130
その他流動負債	3,640	3,391	▲ 249
長期借入金	70	160	90
その他固定負債	1,089	1,172	83
純資産	29,343	31,038	1,695
負債純資産合計	43,731	47,230	3,499
			増減率
有利子負債比率	3.00%	9.60%	6.60%
現預金比率	10.40%	22.10%	11.70%
自己資本比率	66.20%	64.90%	▲1.30%

### 【貸借対照表概要】

- 商品及び製品や売掛金等が減少する一方で現金・預金が大きく増加したことで流動資産は増加
- 土地の取得により固定資産が増加
- 金融機関からの借入が増加したことにより流動負債は増加
- 利益の積み上げにより純資産は増加

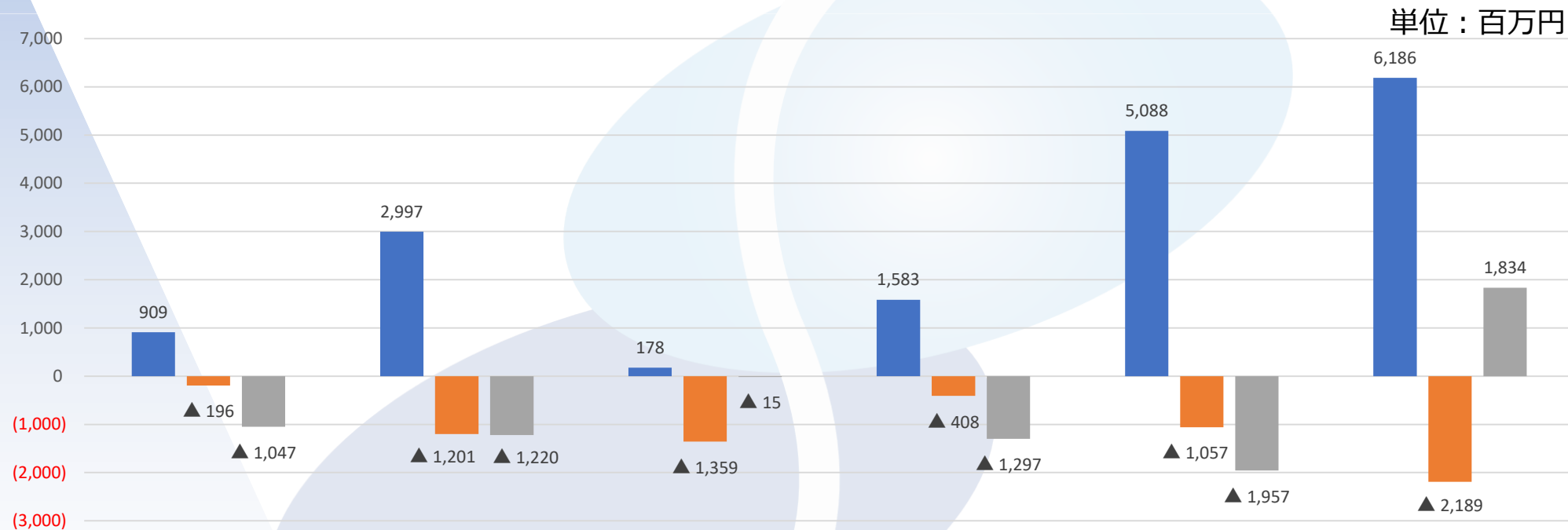
### <ポイント>

- 現預金を大きく積み増し
- 自己資本比率は依然として高水準

# キャッシュフロー

## 参考資料

営業CF：売上債権,在庫の減少により前期比で増加  
 投資CF：M & Aや有形固定資産の取得により減少  
 財務CF：短期借入金の増加に伴う増加



	15.9	16.9	17.9	18.9	19.9	20.9
キャッシュの増減	▲289	511	▲1,147	▲133	2,023	5,818
キャッシュの期末残高	3,201	3,712	2,601	2,468	4,548	10,418

■ 営業CF

■ 投資CF

■ 財務CF

2020年9月期実績

2021年9月期見通し ~新たなステージへ~

長期計画VISION2023進捗

2021年9月期見通し ～新たなステージへ～

各セグメントの現状と対策

事業開発室創設

# 2021年9月期計画

2021年9月期見通し

単位：百万円

	2020年9月期実績			2021年9月期予想		
	金額	前期比	構成比	金額	前期比	構成比
売上高	76,087	▲8.6%	100.0%	82,000	7.8%	100.0%
売上総利益	14,206	▲4.6%	18.7%	14,000	▲1.5%	17.1%
販売費及び 一般管理費	9,414	+4.5%	12.4%	10,000	6.2%	12.2%
営業利益	4,791	▲18.4%	6.3%	4,000	▲16.5%	4.9%
経常利益	5,271	▲13.2%	6.9%	4,200	▲20.3%	5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,013	▲25.0%	4.0%	2,700	▲10.4%	3.3%
EPS (円)	105.22			94.27		

※EPSは権利落ち修正済



コロナの影響が継続することを前提としておりますが、下記の明るい材料も立ち上がる新たなステージとなります。

セグメント	化成品		機械資材			海外
事業部	ゴム	化学品	産業資材第一 産業資材第二	機械・環境	科学機器	
<b>期待</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アランセオ合成ゴムの競争力向上</li> <li>・ダウ東レのAuthorized代理店指定</li> <li>・環境配慮型素材/機能性ファイバーの新規開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗料、インキ向け添加剤の回復</li> <li>・三洋ライフマテリアルを軸にライフサイエンス分野強化</li> <li>・(株)グローバル・トレーディング買収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存販路を活用した新規商材の開発および横展開</li> <li>・顧客対応の迅速化・顧客と仕入先双方との関係深化を目的に事業部を二分割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産はワイピーテックと粉体飼料機器のシナジー</li> <li>・バイオマスは当別町大型案件始動</li> <li>・南鳥島レアアースPJ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオテクノロジー関連機器</li> <li>・新素材構造解析機器</li> <li>・三洋テクニカルセンター（仮称）竣工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北米吸収性樹脂の販売増</li> <li>・中国市場の回復</li> <li>・STA(タイ)レムチャバン事務所開設</li> </ul>
<b>懸念</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汎用分野の価格競争激化</li> <li>・原価低減圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PFOA規制強化の開始延期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内・海外競合先との競争激化</li> <li>・原価低減圧力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力固定価格買取制度、系統連系の動向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学研究費助成事業の低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車部品の原価低減圧力</li> <li>・自動車部品の米中貿易関税</li> </ul>

# 対策の具体例 1

2021年9月期見通し

## 機械・環境事業部

コロナ禍でも畜産事業は安定、会社業績を支えています。当期から子会社ワイピーテックは機械・環境事業部の傘下となりました。

### 当社グループ

#### ワイピーテック

飼料用機能性添加剤



CPM社 畜産飼料用  
ペレットミル※

シナジー



### 販売先

全国へ納入実績



● 飼料メーカー

※飼料用ペレットミルの国内市場占有率9割超

# 対策の具体例 2

2021年 9 月期見通し

## 産業資材事業部

自動車内の快適性・居住性の向上に寄与する商材を中心に、開発提案を継続しています。

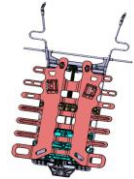
海外サプライヤー

### 当社グループ

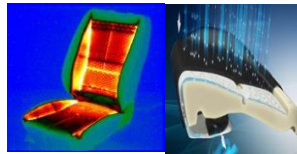
#### 既存商材



ランバーサポート



シートヒーター  
空調システム



シート用モーター



センサー



### 販路・実績

#### 新規商材

ネックウォーマー



タッチリリース  
アクチュエータ



Caresoft社  
高エネルギー解析スキャン



### 取引先



他日系OEM、Tier1

# 事業開発室創設

2021年9月期見通し

事業部の垣根を超え、規模が大きく有望なビジネスを優先的に開発する社長直轄の組織

## 事業開発室

ゴム

化学品

産業資材第一

産業資材第二

機械・環境

科学機器

海外

各事業部・海外拠点で開発継続

新規プロジェクト44件（2020年9月期選定）

**2020年9月期実績**

**2021年9月期見通し**

**長期計画VISION2023進捗**

**100年企業を目指して**

「経営理念」から「行動指針」までブレイクダウンし、それをスローガンとして一つにまとめた言葉を定めることで社員全員による三洋貿易の理念の「体現」を目指す

### < 経営理念 再構築の目的 >

- \* 「経営理念」の位置づけ再考
- \* 「長期計画」の起点
- \* 約30年後(100周年)を見据えた視点

### <スローガンロゴ>



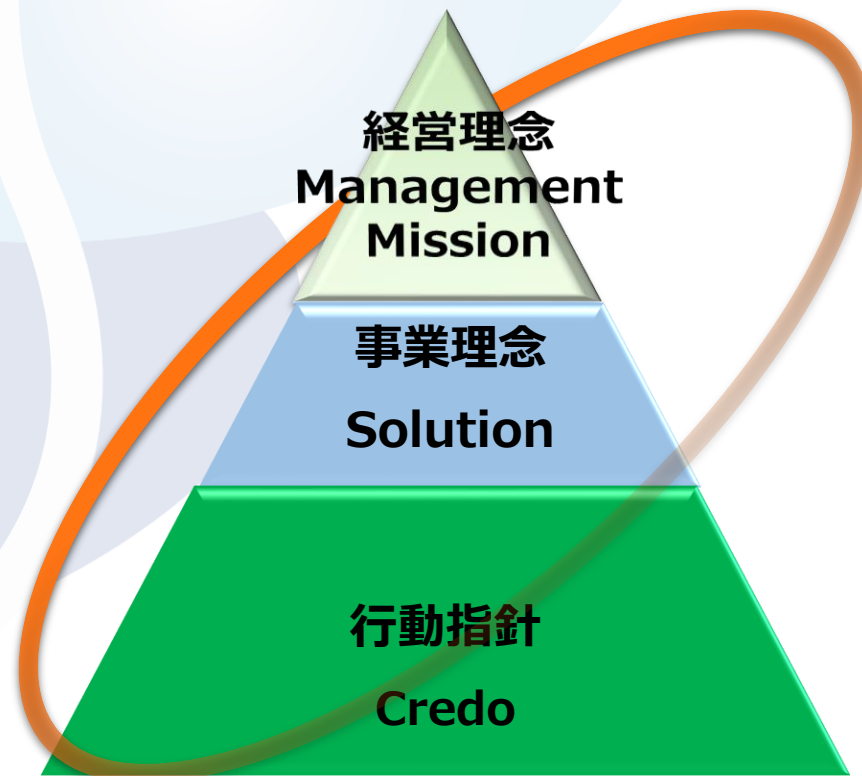
- ◆ チャレンジする能動的・積極的な姿勢、向上心を表す
- ◆ スローガンのもと、挑戦し続ける「未来」を表現
- ◆ コーポレートカラーをベースにし、会社ロゴと調和

## 理念体系図

スローガン (Slogan)

### 最適解への挑戦

~ Challenging ourselves for the BEST solution ~



VISION2023は、**企業体質の強化と収益基盤の強化**の2つの基本方針及びその下に立案された7つの戦略によって構成される。

現在の進捗状況についてご説明します。



# 注力する4市場

## 100年企業を目指して

将来の会社成長を見据え、当社の事業領域をより広義に捉え直しました。

市場	分野	目的
モビリティ	あらゆるモビリティ	移動手段であるモビリティや産業の10年後（2030年）の姿を具現化するために、商材、サービスを通じ付加価値を提供していく
ファインケミカル	ゴム、塗料、インキ、コーティング	マテリアル分野の発展に貢献するために機能性材料、素材、自然由来の新素材を通じゴム、塗料、インキ、コーティング、各種産業分野に安定供給・技術改革・環境対応を提供する。
サステナビリティ	再生エネルギー（バイオマス、地熱、海洋）、畜産飼料	持続可能な社会に貢献するために、再生エネルギーにおいては木質バイオマス・地熱・海洋資源を通じ、畜産分野においては食の安全と質の向上に貢献していく
ライフサイエンス	在宅医療、化粧品、食品、科学機器、電材等	将来必ずやってくる高齢化社会・コロナ後の新社会に対処するために、生活全般、医療に関するあらゆる商材・サービスを提供していく



# 新規投資案件

## 100年企業を目指して

NKS買収、アズロへ吸収合併、子会社の組織再編を通じてライフサイエンス分野を強化しました。

### 三洋ライフマテリアル(株)



- ◆ ライフサイエンス分野の原料・素材を幅広く取り扱う専門商社
- ◆ さりなる事業拡大に向けて、グローバルネットワークを駆使、顧客ニーズに合った商材を国内外に展開する。
- ◆ 総勢18名から構成



### アズロ(株)



- 医薬原料・ファインケミカル中間体の取扱いに特色、インドからのソーシングに強み
- 2017年10月買収

### (株)NKSコーポレーション



- 有機酸類を中心とした食品添加物の取扱いに特色、中国からのソーシングに強み
- 2020年3月買収

### 接着事業／トライテックス事業



- ホットメルト及び関連装置の接着事業、土木関連資材のトライテックス事業
- 2020年10月化学品事業部から移管

# 環境配慮型商材

100年企業を目指して

## ESGへの取組み

当社では、従来より注力している木質バイオマス機器、地熱開発機器をはじめ、石油由来の化学原料から、環境配慮型素材や自然由来原料など代替品への移行を積極的に進めており、新しい商材を通じて環境負荷低減及び生態系の持続に貢献しています。

フタル酸（環境ホルモン懸念物質）を用いない安全な可塑剤メザモール



PFOA（環境ホルモン）を大幅に低減した微粉末PTFEワックス



木質バイオマス100%由来の高純度カーボンブラック



VOC（揮発性有機化合物）低減に繋がるUVインキ/UVコーティング向け添加剤



# 人事部創設

## 100年企業を目指して

### ESGへの取組み

2020年10月、総務部人事グループを独立させ人事部を創設

#### ◆ 従業員に対する取組み

商社である私たちにとって、社員一人ひとりが最大の財産です。様々な教育機会の検討を推し進め、従業員の継続的な教育、そして働く環境の整備に取り組んでいます。

・教育制度の例（階層別研修、海外研修生制度、ニューヨーク短期研修、eラーニングなど）

#### ◆ 社会に対する取組み

社会的課題への取り組みも積極的に行っております。

今年7月にはユニバーサルマナー検定3級を147名の社員が取得しました。今後もこのような社会貢献活動を進めて参ります。



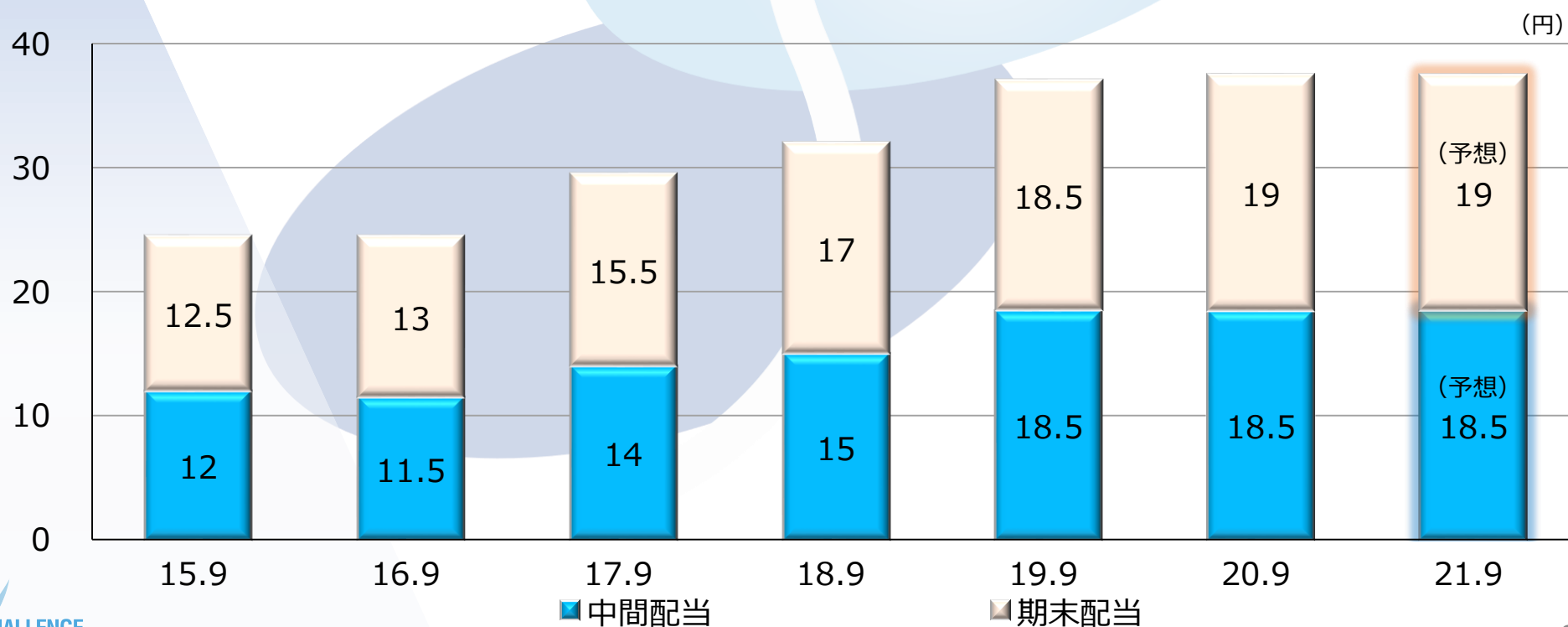
# 株主還元

100年企業を目指して

- 今後も、中長期的な「一株当たり配当額」の増額に重点を置き、長期安定的な株主還元を行っていく方針
- 2021年9月期は前期比同額の予想

	1株あたり配当金		
	2Q末予想	4Q末予想	合計予想
2021年9月期	18.5円	19円	37.5円

## 分割調整後配当推移



# 最適解への挑戦

Challenging ourselves for the BEST solution

ご清聴ありがとうございました。

# 参考資料

# 会社概要

## 参考資料

会社名	三洋貿易株式会社
英文社名	SANYO TRADING CO., LTD.
設立	1947年5月
代表取締役社長	新谷 正伸
本社所在地	東京都千代田区神田錦町2丁目11番地
事業内容	ゴム、化学品、機械機器、科学機器、自動車部品その他各種商品の輸出入、国内販売を行う 市場ニーズの高い商品を取り扱い、技術的サポートを得意とする
拠点	東京、大阪、名古屋、広島、ニューヨーク、デトロイト、イラプアト(メキシコ)、上海、広州、天津、香港、バンコク、レムチャバン、ホーチミン、ハノイ、グルガオン(インド)、ジャカルタ、シンガポール、デュッセルドルフ
売上高	76,087百万円 (2020年9月期、連結ベース)
経常利益	5,271百万円 (2020年9月期、連結ベース)
親株主帰属当期純利益	3,013百万円 (2020年9月期、連結ベース)
従業員数	413人 (2020年9月末、連結ベース)

# 沿革

## 参考資料

1947年	5月	旧三井物産の解体に伴い、同社神戸支店有志により神戸を本店として資本金195千円をもって三洋貿易株式会社を設立
1948年	5月	東京支店を設置
1952年	12月	大阪支店を設置
1954年	1月	ニューヨーク駐在員事務所を開設(1961年2月 Sanyo Corporation of Americaに改組)
1958年	8月	名古屋支店を設置
1961年	11月	本店を神戸から東京に移転
1992年	10月	ホーチミン駐在員事務所を開設(2010年2月 Sanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd.に改組)
2002年	10月	ニューリー・インスツルメンツ株式会社を吸収合併
2003年	6月	バンコク駐在員事務所をSan-Thap International Co.,Ltd.社へ業務移管
2004年	1月	コスモス商事株式会社を子会社化
	10月	株式会社東知との共同出資にて、三洋東知(上海)橡膠有限公司を設立
2006年	4月	三洋テクノス株式会社を設立
	10月	株式会社ケムインターに資本参加し、発行済株式の68.52%を取得(現在76.85%)
2010年	10月	インド駐在員事務所(ニューデリー)開設(2011年12月 Sanyo Trading India Private Ltd.に改組)
2012年	2月	三洋物産貿易(香港)有限公司を設立
	10月	東京証券取引所 市場第2部に上場

2013年	10月	メキシコにSun Phoenix Mexico S.A. de C.V.を設立
	10月	東京証券取引所 市場第1部指定
2014年	8月	インドネシアにPT. Sanyo Trading Indonesiaを設立
2015年	6月	Bestrade Precision Singapore社を子会社化。7月 Singapore Sanyo Trading Pte. Ltd. に社名変更
	9月	株式会社ケムインターがコムスタージャパン株式会社を子会社化
	10月	タイに Sanyo Trading(Thailand) Co., Ltd.を設立
2016年	2月	株式会社ソートの子会社化(2018年4月 吸収合併)
	7月	日本ルフト株式会社を子会社化
2017年	2月	古江サイエンス株式会社を孫会社化(2017年9月現三洋テクノス株式会社と合併。)
	3月	ドイツに Sanyo Trading Co., Ltd. Dusseldorf Representative Officeを設立
	6月	日本フリーマン株式会社を子会社化
	8月	広島事務所を開設
	10月	アズロ株式会社を子会社化
2018年	2月	San-Thap International Co., Ltd.を完全子会社化(2018年6月 Sanyo Trading Asia Co., Ltd.に商号変更)
2019年	5月	新東洋機械工業株式会社を子会社化
	10月	株式会社ワイピーテックを子会社化
2020年	3月	株式会社NKSコーポレーションを子会社化
	10月	アズロ株式会社と株式会社NKSコーポレーションが合併し、三洋ライフマテリアル株式会社に社名変更
	11月	株式会社グローバル・トレーディングを子会社化



# 事業拠点

## 参考資料

### 化成品セグメント

ゴム事業部	化学品事業部
三洋東知（上海） 橡胶 三洋物産貿易（香港）	<b>(株)ケムインター</b> <b>三洋ライフマテリアル(株)</b> (株) グローバル・トレーディング

### 機械資材セグメント

機械・環境事業部	産業資材事業部	科学機器事業部
<b>三洋機械工業(株)</b> <b>コスモス商事(株)</b> <b>(株)ワイピーテック</b>	<b>日本フリーマン(株)</b>	三洋テクノス (株) 新東洋機械工業(株) <b>日本ルフト(株)</b>

※青色は連結対象

### 駐在員事務所

#### 欧州

Sanyo Trading Co., Ltd.  
Dusseldorf Representative Office

### 海外現地法人セグメント

#### 北米 中南米



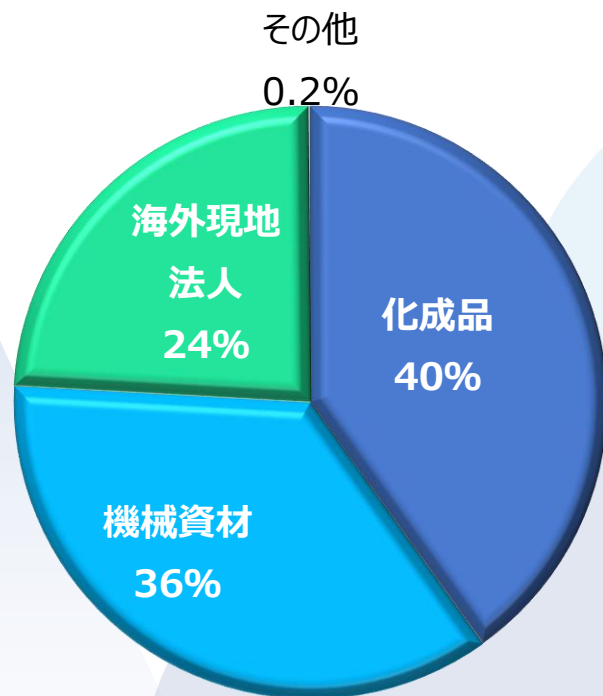
#### アジア アセアン



- 2012年以前に設立
- 2013年に設立
- 2014年に設立
- 2015年に設立
- 2017年に設立
- 2020年に設立

※青色は連結対象

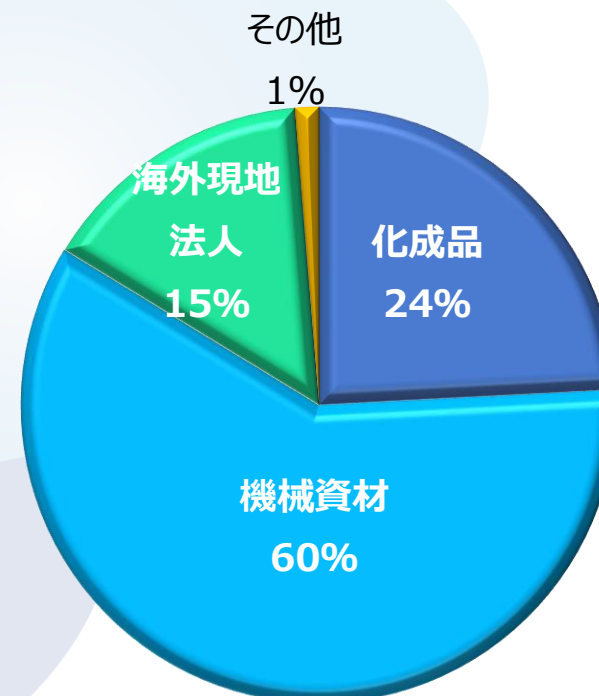
### 売上高



セグメント別 売上実績			
2020年9月期 (金額単位：百万円)			
化成品	機械資材	海外現地法人	その他
30,508	27,205	18,227	114

(注) 調整前

### 営業利益



セグメント別 営業利益実績			
2020年9月期 (金額単位：百万円)			
化成品	機械資材	海外現地法人	その他
1,353	3,333	839	72

(注) 調整前

# セグメント区分

## 参考資料

弊社は以下の3つのセグメントを軸として、国内外で様々な事業を展開しております。

※子会社は連結ベース

### 化成品セグメント

ゴム事業部

化学品事業部

国内子会社

ケムインター、三洋ライフマテリアル

### 機械資材セグメント

産業資材第一事業部

産業資材第二事業部

機械・環境事業部

科学機器事業部

国内子会社

日本フリーマン、コスモス商事、ワイピーテック  
三洋機械工業、日本ルフ

### 海外現地法人セグメント

アメリカ、メキシコ、中国、タイ、ベトナム、インドネシア

### ゴム事業部

主要取扱商材	合成ゴム（ブチルゴム、NBR、シリコンゴム等）、 ゴム充填材（放熱材、特殊クレー、難燃剤等）、 可塑剤、熱可塑性エラストマー・樹脂等
主要販売先業界	自動車、情報機器等
主要用途	タイヤ、自動車部品（内外装部品、防振ゴム、 ホース、オイルシール等）、OA部品（各種 ロール等）、医療関連商品等
注力分野	海外連携

#### 特徴・強み

- 1952年 日本で最初に合成ゴムを輸入。ゴム産業に係る幅広い商品を取扱う
- 取引先は国内タイヤ、工業用ゴム製品の主要メーカーをほぼ網羅
- 合成ゴム、充填剤等の一般原材料のみならず、特殊ポリマー、配合剤等、多彩な商品を取扱う
- 技術系営業員によるユーザーへの技術支援、共同開発も可能
- 安定供給を維持するためのロジスティクス分野でも実績と経験を保有
- 顧客の海外進出にも対応可能なネットワークを構築

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
ARLANXEO/Lanxess	各種合成ゴム、可塑剤	世界No.1の合成ゴム総合メーカー、幅広い製品群を安定供給
KaMin	特殊クレー	タイヤ、工業用ゴム部品で性能向上と低コスト化を両立させる戦略商品
ダウ・東レ	シリコンゴム	耐熱性に優れ、OAロール・自動車部品・医療用部品等幅広い用途

#### 取扱い商材例とその最終製品例



#### 各製造メーカー



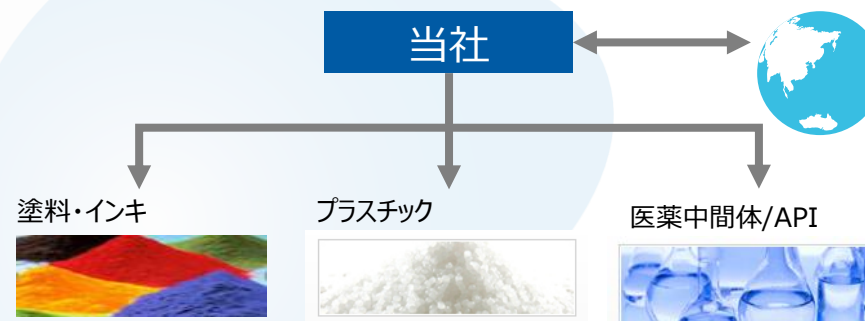
### 化学品事業部

主要取扱商材	塗料・インキ用添加剤等、各種樹脂、高機能性フィルム、医薬中間体/API、電子材料、
主要販売先業界	化学、建材、自動車、電子機器等
主要用途	塗料、インキ、プラスチック、フィルム、医薬等
注力分野	UV塗料原料、高機能性フィルム

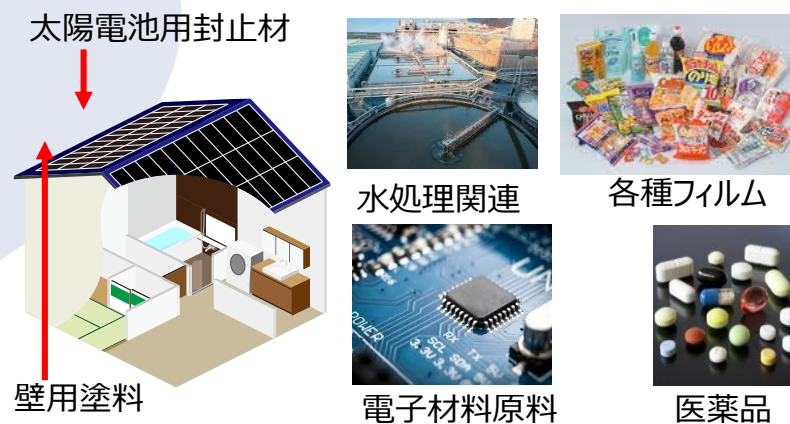
#### 特徴・強み

- 高付加価値のファインケミカルを取り扱う
- 医薬中間体/API、太陽電池関連、環境対応型商品など、医薬、エネルギー、環境向けにライフサイエンス商品も展開
- 優れたロジスティックノウハウでの物流サービス、在庫販売及びきめ細やかな技術サービスを提供
- 海外仕入先にてトレーニングを受けた営業員による高付加価値商品の提案、用途開発ならびに技術支援

#### 取扱い商材例とその最終製品例



#### 各製造メーカー



主な仕入先	主な取扱商品	特徴
Shamrock	各種ワックス	インキ・塗料用の高性能ワックス

# 各事業部の強みと特徴

## 参考資料

### 産業資材第一事業部 産業資材第二事業部

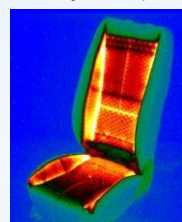
主要取扱商材	自動車シート用本革、シートヒーター、ランバーサポート、センサー等
主要販売先業界	自動車関連
主要用途	自動車用内装部品（主として高級車）
注力分野	エアバッグ用センシングデバイス、空調シート（温・冷風）

#### 特徴・強み

- 新車の開発段階からデザインの提案や性能開発・改良に参加
- 受注→開発→立ち上げ→量産管理→旧型補給品対応 まで一貫して対応する体制
- 自動車メーカー及びTier1との深い関係構築
- 皮革シートの厳しい納入基準をクリア
- 契約獲得できればその生産期間は売上が見通しやすい

#### 取扱い商材

シートヒーター



ランバーサポート



レザーシート



シートセンサー



シート用モーター

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
GST/Seton Autoleather	自動車用の本革	デザインから自動車メーカーと共同開発
Gentherm	シートヒーター	カーボンファイバー仕様の市場を独占
L&P Group	ランバーサポート	高い技術力で世界市場で大きなシェアをもつ

### 機械・環境事業部

主要取扱商材	ペレットミルおよび関連部品、木質バイオマス関連機器 畜産関連資材
主要販売先業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペレットミル；飼料、エネルギー、リサイクル</li> <li>● 木質バイオマス関連機器；地方公共団体 等</li> </ul>
主要用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペレットミル；飼料製造、固形燃料（ペレット）製造</li> <li>● 木質バイオマス関連機器；電力、熱供給</li> </ul>
注力分野	木質ペレットガス化熱電併給装置

#### 特徴・強み

##### CPM社製ペレットミル

- 日本総代理店として60年以上の歴史
- 飼料用ペレットミルのシェアは9割以上
- メンテナンス部隊による保守点検
- 自動制御装置のソフト開発およびカスタマイズ化で他社の輸入品と差別化

##### 木質バイオマス関連機器

- 独ブルクハルト社製。木質ペレットとのシナジー効果を期待
- 再生エネルギー利用、地域振興の政策意義

#### 取扱い商材



CPM社 ペレットミル



各種ペレット



ブルクハルト社 熱電併給ユニット



ブルクハルト社 ガス化ユニット

主な仕入先	主な取扱商品	特徴
CPM	ペレットミル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飼料、餌料においては固形化により自動給餌が可能</li> <li>● 保管と輸送費の節減が可能</li> </ul>
ブルクハルト	木質ペレットガス化熱電併給装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーとして、熱電併給が可能</li> </ul>

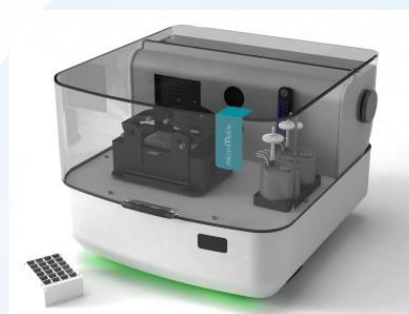
### 科学機器事業部

主要取扱商材	各種検査・試験機器（摩擦試験機、金属分析器、ガス分析計、耐候性試験機、バイオセンサー、表面物性試験機等）・医療機器
主要販売先業界	国立研究所、防衛省、大学、石油、化学、自動車、製薬等
主要用途	研究開発、品質管理、判別、危機管理
注力分野	バイオリアクター、医療機器

#### 特徴・強み

- 特定の分野ではなく、公官庁、民間企業とも幅広い分野に顧客を有する
- 海外の先端技術を有する多くのメーカーの優れた商品を国内に輸入、販売を行う
- 保守サービス専門子会社を保有している
- 自社ブランド商品の開発と輸入機器のカスタマイズを得意とする

#### 取扱い商材



バイオリアクター



ガス分析装置



耐候性試験機



摩耗粉分析装置

主な仕入先	主な取扱商品	主な仕入先	主な取扱商品
FALEX	摩擦試験機	Q-LAB	耐候性試験機
SPECTRO INC.	潤滑油劣化診断機器	PICARRO	温室効果ガス・同位体比分析計
PRESENS	非破壊酸素濃度計	ASI	二次イオン質量分析計



### 海外現地法人

	ゴム	化学品	産業資材
北米地域	Sanyo Corporation of America (米国)		
	Sun Phoenix Mexico (メキシコ)		
アジア地域	三洋物産貿易(上海)有限公司(中国)		
	Sanyo Trading Asia Co., Ltd. (タイ)		
	Sanyo Trading(Viet Nam)Co., Ltd. (ベトナム)		
	PT.Sanyo Tradng Indonesia (インドネシア)		

#### 三洋物産貿易(上海)

##### 主力商材

- 自動車内装用部材
- 化成品

##### 注力分野

- リチウム電池材料
- 工業用接着剤



#### Sanyo Trading Asia(タイ)

##### 主力商材

- 自動車向けゴム原材料
- 自動車内装用部材
- 化成品

##### 注力分野

- 高機能電材添加剤
- アジア複数現地法人との連携



#### Sanyo Corporation of America (米国)

##### 主力商材

- 高機能性フィルム
- 吸水性ポリマー
- 自動車内装用部材
- ゴム副資材

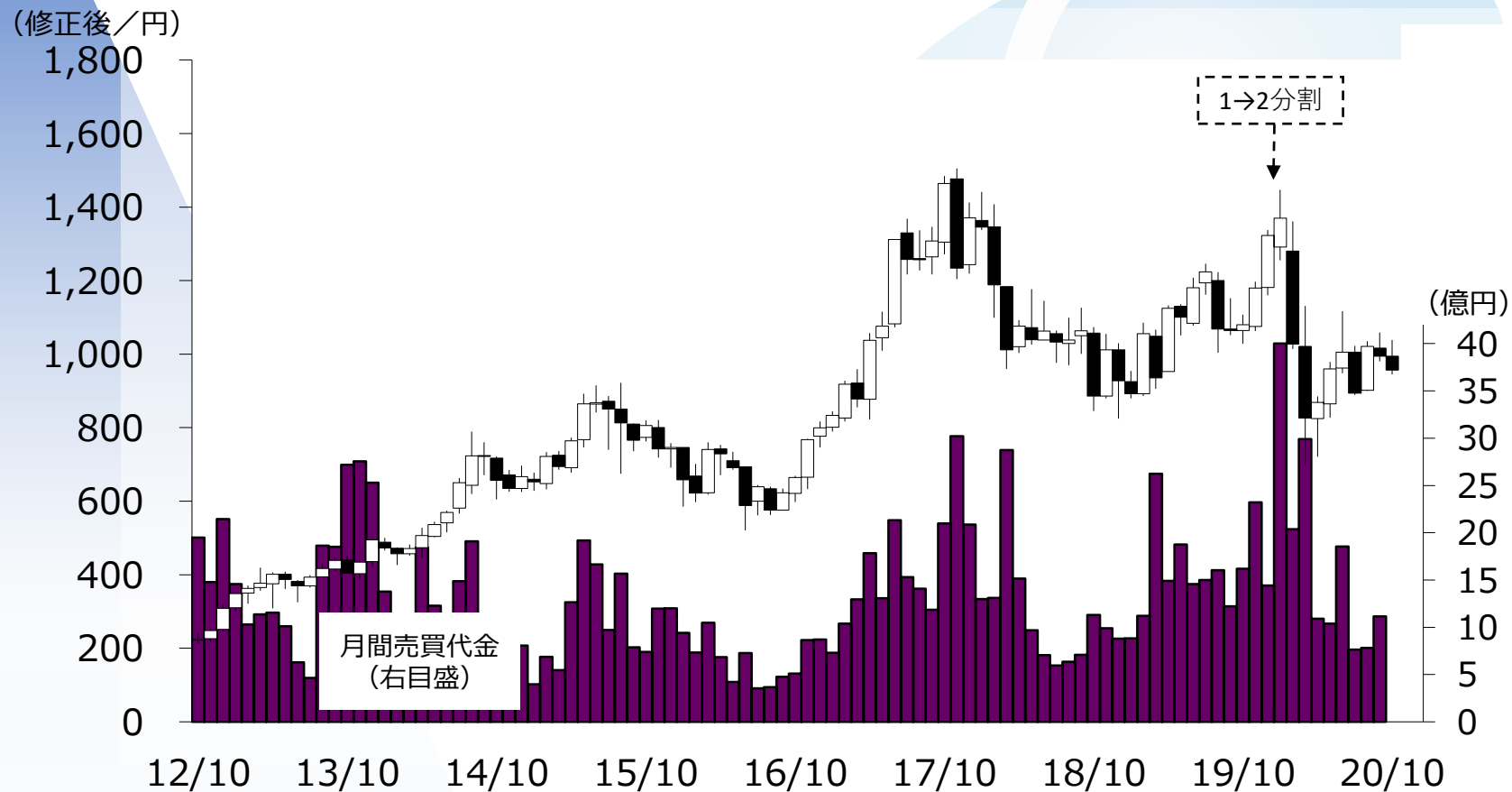
##### 注力分野

- 高付加価値フィルム
- メキシコ現地法人との連携



# 上場来の株価推移

参考資料



## IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 経営戦略室長 大谷 隆一

電話：03-3518-1111 e-mail：ir@sanyo-trading.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。